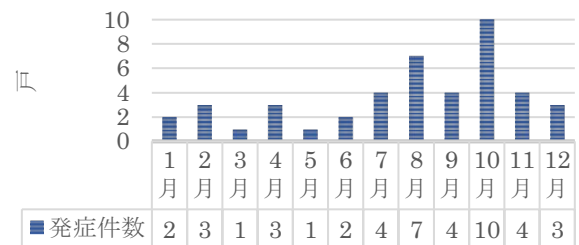


サルモネラから農場を守ろう！

ここ数年、当地区でもサルモネラ症の発生が見られます。近年増えているサルモネラ症は症状が出にくく、気がついたときには牛群に広がっていることが多くあります。まずは菌を農場に入れないことが最も大事なことです。

サルモネラ症は、夏から秋にかけて増える傾向があります（図1）。今から対策を講じて牛をサルモネラから守ってあげましょう。

図1 十勝管内月別サルモネラ発症件数
H19~25



外部からの病原体を防止する

①道路への石灰散布

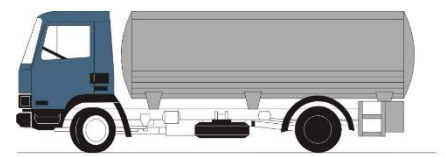
訪問者への対策として、取り付け道路には石灰散布をおこなひましょう。その際は大型車両のタイヤ回りぶん、少なくとも3~4メートルの長さが必要です。また、石灰散布量の目安は1 kg/m²です。

一般的な取り付け道路の幅は4メートル弱ですから、1回に16 kgの消石灰をホウキなどで均一に広げてください。消石灰は雨に濡れると消毒効果が薄れますから、道路が乾いたら再度散布します。

毎日の小さな作業の積み重ねが農場を病気から守ります。



写真1 看板の設置と石灰散布



石灰は、タイヤ径の3~4倍必要です。

②踏込消毒槽の設置

病原体は「人」に付着して農場内を移動します。処理室、牛舎の出入り口すべてに踏込消毒槽を設置しましょう。また、消毒薬は土や糞などが混入するとすぐに効果がなくなりますから、必ず先に汚れを落とす水洗い槽を設置してください。

生乳処理室は牛舎の延長ではなく乳業工場の入り口とを考えてください。ですから、農場訪問者が処理室内で足を洗わなくともすむように踏込消毒槽と水洗い槽を出入り口に設置ねがいます。



写真2 水洗い槽と消毒槽

牛の夏バテ対策をしよう！～この時期にサルモネラが増えてくる～

- ・熱中症対策で水分とミネラルが必要なのは牛も人も同じ。いつでも新鮮な水が飲めるよう、水槽をきれいにしよう。鉱塩が切れてないかも注意。TMRなら塩の増給も必要です。
- ・胸焼け対策に重曹給与を。シッカリした反芻のために長もの粗飼料も忘れずに。
- ・そして、暑熱対策に換気扇や扇風機をまわして涼風をあててあげよう！！

